畜産あきた

新年号
2018
1月

「第49回秋田錦牛銘柄確立共励会」開催

11月27日から11月30日にかけて秋田県食肉流通公社において、秋田県畜産農協主催の「第49回秋田錦牛銘柄確立共励会」が開催され、盛会裡に終了いたしました。

今回の出品牛は県内で生産された黒毛和種65頭（去勢56頭、雌９頭）でした。秋田県畜産試験場　飼料・家畜研究部 小野寺 亨部長及び、秋田県畜産農協総務部　佐藤清朝次長による厳正な審査の結果、横手市　伊藤透さんの出品された去勢牛「源氏230」号が最優秀賞に輝きました。また、枝肉単価はkg当たり4,200円でした。優秀賞は橋本一志さん（横手市）、佐藤栄治さん（由利本荘市）伊藤重男さん（横手市）となりました。うまみ賞は佐々木誠綱さん（羽後町）でした。

尚、共励会の開催にあたり食肉流通公社、生産者の皆様のご支援、ご協力を頂き、滞りなく終了することができました。厚く御礼申し上げます。

●平成30年1月31日発行　第39号　【発行】秋田県畜産農業協同組合　【編集】総務部

年頭のごあいさつ

秋田県畜産農業協同組合
代表理事組合長　**加　藤　義　康**

平成30年の新春を迎え、県下畜産農家並びに関係者の皆様方に謹んでお慶び申し上げます。

昨年、宮城県で5年ぶりに開催の第11回全国和牛能力共進会においては、出品いただいた生産者を始め関係者のご協力により優秀な成績を収めることが出来、併せて感謝申し上げます。

さて、国際化の進展はＥＵとのＥＰＡ大筋合意に加え、ＴＰＰ参加についても米国を除く11ヵ国での閣僚会議において大筋合意に至るなど、農畜産業にとっての不安は払拭出来ない状況にあります。

本県の基幹をなす農畜産業の維持発展は、本県の経済にとって欠くことが出来ないだけに機会あるごとに関係機関に生産者が如何なる環境下にあっても、常に再生産出来る施策により万全な対策を講じるよう要請を行ってまいりました。今後も注意深く状況を見守りながら、必要な要請を行うことが肝要と思っております。

そのような状況下、子牛価格が依然として堅調な相場の中、肥育経営において牛枝肉価格がやや軟調な変化により収益確保が厳しい状況となってまいりました。しかし、マルキンの補てん率引き上げは、平成30年4月より1年間、補てん率を9割まで引き上げることを決定いたしております。

また、競争力強化のための畜産クラスター事業については、11月の国の補正予算により、当組合でも新年に協議会を発足することとなり、これから充分な予算の確保と継続的な要請を行っていきたいと思っております。

生産者の高齢化が進むなか、生産基盤の縮小が否めない状況ではありますが我が組合の「秋田錦牛」・「かづの牛」ブランド力を最大限に発揮出来るよう取り組んでまいりたいと思っております。

本年においても、県及び関係団体が一丸となって畜産農家の経営安定を図るため優位販売を目指すと共に、流通体制の構築に取り組んでまいります。今後とも皆様方のご支援をお願い申し上げます。

最後に、畜産農家並びに関係各位のご健勝と、皆様の畜産経営が更に向上いたしますよう祈念し念頭のご挨拶と致します。

平成三十年　元日

食肉事業所より

第49回秋田錦牛銘柄確立共励会開催

最優秀賞は横手市　伊藤透さん

11月27日から11月30日にかけて、秋田県食肉流通公社において「第49回秋田錦牛銘柄確立共励会」が開催されました。

今回の出品牛は全頭黒毛和種で、去勢56頭、雌9頭の合計65頭が出品されました。審査委員の厳正な審査の結果、見事最優秀賞に輝いたのは横手市　伊藤透さんが出品した去勢牛　源氏230号（生後28ヶ月）でした。血統は、父が幸紀雄、二代祖が安福久、三代祖に第1花国でした。枝肉重量587kg、ロース芯面積105㎠、バラの厚さは9.8cm、格付等級「A-5」、BMS「12」）で、枝肉単価は4,200円、枝肉販売金額は2,465,400円でした。

伊藤透さん

最優秀賞を受賞した伊藤透さんからお話しを伺いました。

●受賞牛について

子牛の時から体高、幅、深みがあり大柄な牛でした。血統的には、2代祖に田尻系ということで興味本位というのと、健康にしっかり育つだろうということで買いました。チャンピオンを初めから狙ってはいませんでしたが、同じ繁殖農家から買った牛と一緒のマスで育てた為、ストレスや食いどまりがなく順調に育ちました。仕上がりが非常にいい牛でしたし、期待以上の成績を出してくれたのですごくうれしいです。

これからもいい牛を作るよう飼養管理をしっかりとしていきます。

伊藤透さんありがとうございました。

〈全体の成績〉

性別	頭数	平均枝重	平均単価
去勢	56	548.4kg	2,507
雌	9	456.7kg	2,866
小計	65	535.7kg	2,550円

最優秀賞受賞枝肉断面

賞	受賞者	格付け	性別	枝重	単価	父	母の父	祖母の父
最優秀賞	伊藤透	A-5　12	去勢	587 kg	4,200 円	幸紀雄	安福久	第1花国
優 秀 賞	橋本一志	A-5　12	雌	455.5 kg	3,100 円	晴糸錦	龍平	義安福
優 秀 賞	佐藤栄治	A-5　12	去勢	501.5 kg	3,090 円	隆之国	勝忠平	第1花国
優 秀 賞	伊藤重男	A-5　12	去勢	604 kg	3,000 円	勝忠平	安福久	平茂勝
うまみ賞	佐々木誠綱	A-5　9	雌	480.5 kg	2,890 円	美国桜	勝忠平	美津照

鹿角市十和田

組合員紹介

佐藤（さとう） 幹夫（みきお） さん（69歳）

●従事者
本人・奥様・息子

●飼養品種、頭数
黒毛和種(繁殖牛25頭・育成9頭・子牛18頭)
乳牛（搾乳牛8頭・育成牛1頭）

今回は昨年10月15日に開催されました、第102回鹿角畜産共進会で黒毛和種「はなゆり」で優等賞に輝いた佐藤幹夫さんにお話を聞きました。

戦後、先代の時代に十和田開拓に入植、乳牛を導入し酪農経営に取り組んでおりました。平成13年に乳牛に受精卵を移植し生まれた雌子牛を保留したのが和牛繁殖経営の始まりでした。当初は乳牛と和牛の育成方法の戸惑いがあったそうですが、平成21年に安定経営を目的に、北海道より「百合茂・勝忠平」などの優良血統牛を導入し、それらの血統を元に増頭を図り現在に至っております。

佐藤さんは、F1スモールで産子が大きく市場取引が好調であった「花国安福」に注目し、積極的に和牛にも交配、平成27年度には黒毛去勢牛が鹿角地域の最高価格で販売する事が出来、平成28年の第100回鹿角畜産共進会の記念式典では、優良生産者として表彰され喜んでおります。

● 飼養管理ポイント

息子さんが、人工授精を担当しております。哺乳能力が劣る母牛の場合は、早期離乳を実施し哺乳を行っております。また、35haある牧草地を活用し自給生産した牧草給与し、低コスト生産に努めております。

● 今後の目標

今後は、頭数も揃い和牛繁殖経営が主体となります。交配方法や飼養管理の勉強をしながら、優良な素牛の生産に取り組んで行きたいと、目標を話してくれました。

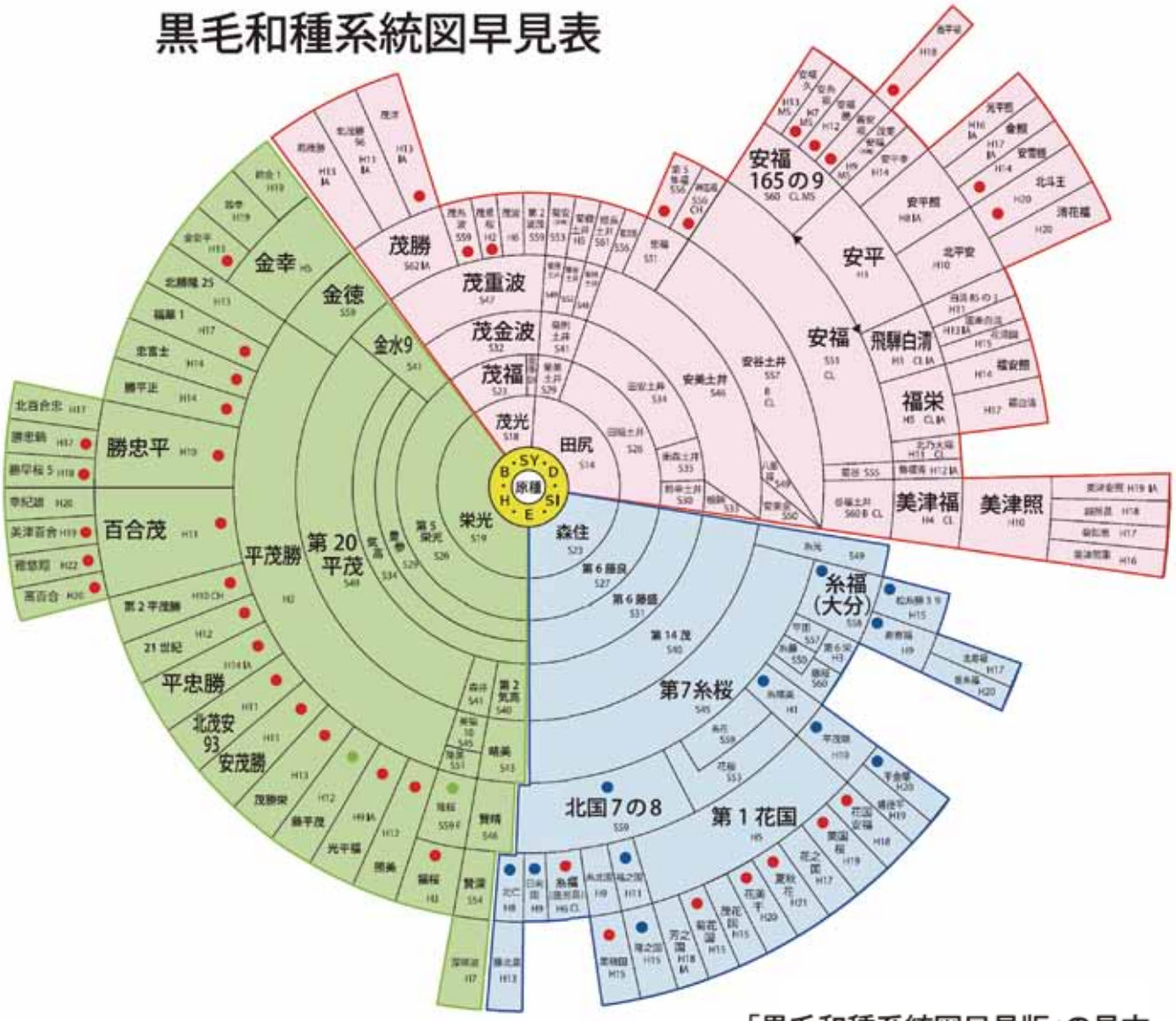
昨年の鹿角畜産共進会の優等賞「はなゆり号」と佐藤さん。

牛舎には和牛（手前）乳牛（奥）がスタンチョンに並んでおります。

子牛には、新聞紙と飼料袋で作成したジャケット。保温効果があり便利です。

畜産トピックス

黒毛和種系統図早見表



「黒毛和種系統図早見版」の見方

1 但馬系
糸桜系
気高系

2 ●印は、兵庫系 × 糸桜系、兵庫系 × 気高系
気高系 × 兵庫系、糸桜系 × 兵庫系のハーフ
●印は、糸桜系 × 気高系のハーフ
●印は、気高系 × 糸桜系のハーフ

3 遺伝病、検査結果が判明している種雄牛について
略称を標記した
B：牛バンド 3 欠損症（B3）
F：牛 13 因子欠損症（F13）
CL：牛クローディン欠損症（CL16）
CH：牛チェディアックヒガン症候群（CHS）
MS：メラニン細胞刺激ホルモン受容体（MSHR）
I A：IARS 異常症（IARS）

4 「S」及び「H」は生年の年号を示す

5 ⟷ は母の父牛を表した

支所だより

○日本短角種枝肉勉強会　“「かづの牛」４頭出品”

11月９日に北海道帯広市の北海道畜産公社十勝工場で開催された、日本短角種枝肉研究会が開催され、当組合鹿角牧場で肥育した「かづの牛」の枝肉４頭が出品されました。

この勉強会は、北海道、青森県、岩手県、秋田県から20頭が出品され、参加者は枝肉を見学し肉質を確認後、各産地の生産者から特色ある飼養管理方法の発表が行われ、食肉流通業者から見た、日本短角種の肉質評価について意見が発表され、生産者と流通関係者との積極的な意見が交換されました。

今後、美味しい赤身肉の「かづの牛」生産、販売するために、参考にして行きたいと思います。

出品した「かづの牛」の画像と詳細

めす　29.3 カ月　枝重 490kg　格付 B−3

めす　29.6 カ月　枝重 484kg　格付 B−2

去勢　28.7 カ月　枝重 494kg　格付 B−2

めす　30.8 カ月　枝重 459kg　格付 B−2

画像提供　帯広畜産大学　口田教授

理事会だより

第3回理事会

（開催日：平成29年11月24日　場所：秋田県畜産会館）

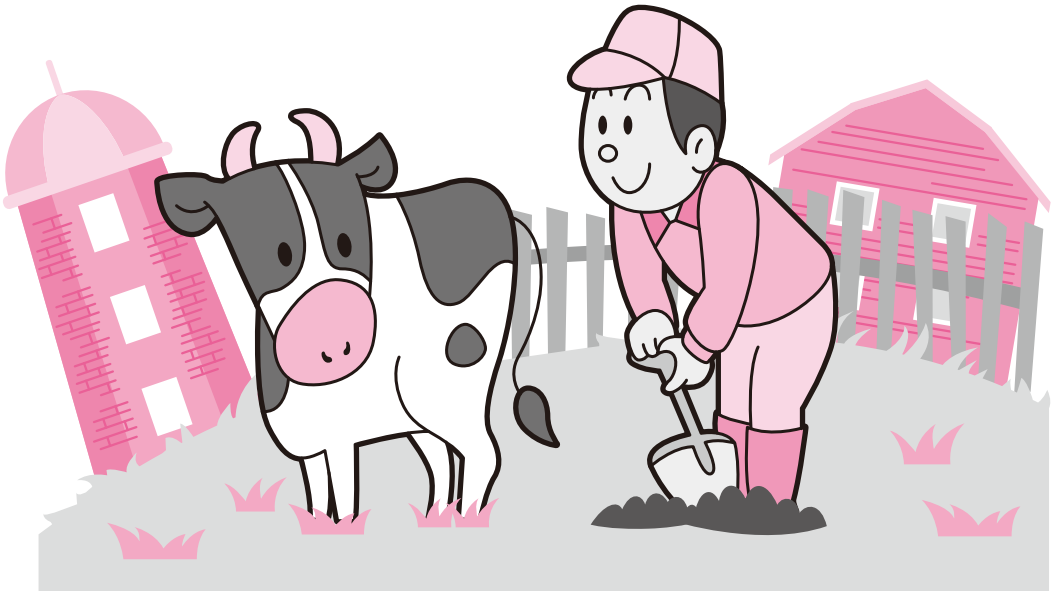
報告事項1　「平成29年度　上半期決算報告について」

報告事項2　「事業進捗状況について」
①　主要処理事項及び今後の予定等について
②　各部門の事業損益等の状況説明について

報告事項3　「第102回鹿角畜産共進会及び第15回かづの畜産まつりの結果について」

協議事項1　「冬期賞与の支給について」

その他



あきた総合家畜市場

平成30年 1月期子牛セリ市結果【黒毛和種】

市場名	性別	今回(30年1月)		前期(29年12月)			前年同期(29年1月)		
		頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
あきた総合	メス	127	664,481	161	708,138	△ 43,657	115	832,849	△168,368
	去勢	168	796,179	198	873,251	△ 77,072	167	924,066	△127,887
	計	295	741,771	359	799,203	△ 57,432	282	886,868	△145,097

(税込み)

【平成30年 1月期子牛】

去勢高価格順

	種雄牛	2代祖	3代祖	DG	取引価格
1	隆之国	安福久	百合茂	1.17	1,098,000
2	百合茂	安福久	勝忠平	1.28	1,020,000
3	幸紀雄	安福久	茂勝栄	1.21	1,009,000
4	隆之国	安福久	百合茂	1.25	999,000
5	第1花国	安福久	百合茂	1.28	996,000

(税別)

雌高価格順

	種雄牛	2代祖	3代祖	DG	取引価格
1	安福久	勝忠平	紋次郎	1.10	1,513,000
2	安福久	勝忠平	糸福	1.04	1,358,000
3	諒太郎	安福久	紋次郎	0.97	919,000
4	美国桜	紋次郎	糸福	1.24	910,000
5	美国桜	勝忠平	安福久	1.16	907,000

(税別)

行事予定

1月
- 10日 あきた総合家畜市場開催日
- 12日 第3回業務推進会議
- 18日 担い手ネットワーク勉強会
- 19日 第4回業務推進会議
- 29日 第4回理事会
- 31日 地区運営委員会

2月
- 6日 あきた総合家畜市場開催日
- 8日 第34回畜産組合枝肉研究会
- 9日 中央地区座談会
- 16日 南部地区座談会
- 18日 北部地区座談会、畜産講習会

3月
- 2日 第5回理事会
- 6日 あきた総合家畜市場開催日
- 16日 北部地区役員推進会議
- 27日 臨時総会、第6回理事会
- 31日 棚卸監査

※畜産あきたは、年４回（１・４・７・１０月）の発行を予定しております。